

令和7年度（2025年度）

学校評価報告書

令和8年（2026年）6月

八王子市立看護専門学校

令和7年度（2025年度）学校評価

本校は、看護師として必要な知識・技術・態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材の育成を目的としている。

八王子市立看護専門学校学則（以下「学則」という。）第8条に基づき教育の充実を図り、学校の目的・目標を達成するために学校における教育活動の状況と学校運営について、評価項目を9つの大項目に分け、さらに各項目について複数の小項目を設け、昨年度に引き続き専任教員による評価を行った。

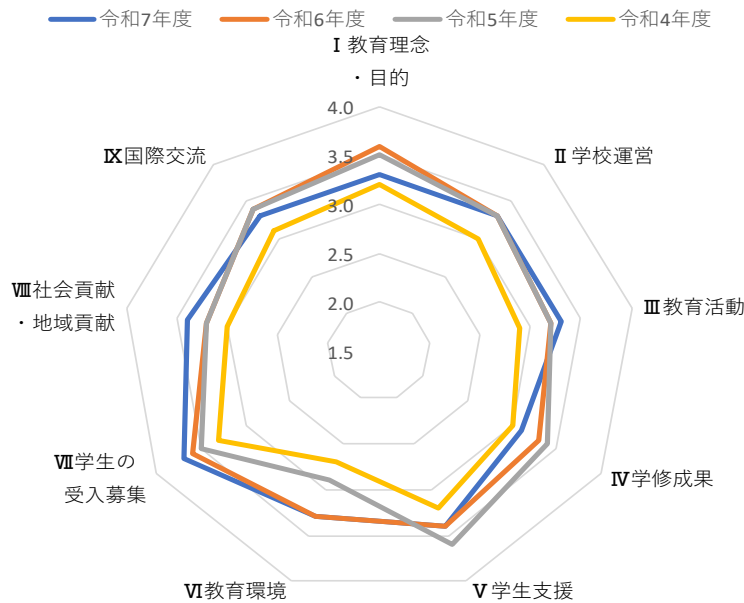
自己評価

評価項目	I 教育理念・目的	II 学校運営	III 教育活動	IV 学修成果	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生の受入募集	VIII 社会貢献・地域貢献	IX 国際交流
令和7年度	3.3	3.3	3.3	3.1	3.4	3.3	3.7	3.4	3.3
令和6年度	3.6	3.3	3.2	3.3	3.4	3.3	3.6	3.2	3.4
令和5年度	3.5	3.3	3.2	3.4	3.6	2.9	3.5	3.2	3.4
令和4年度	3.2	3.0	2.9	3.0	3.2	2.7	3.3	3.0	3.1

※評価基準【4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切】

【参考】学生による評価

評価項目	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生の受入募集	VIII 社会貢献・地域貢献	IX 国際交流
1年生	3.4	3.3	3.5	3.4	3.4
2年生	3.2	3.2	3.5	3.4	3.1
3年生	3.7	3.6	3.6	3.5	3.7
平均	3.4	3.4	3.5	3.4	3.4



I 教育理念・目的

【自己評価】 評価点 3.3

教育理念・目的・目標は学校案内に示し、入学希望者への学校説明会（オープンキャンパス）、個別見学及び市ホームページなどで周知している。また、在校生には学生便覧に示し、入学時のオリエンテーションにおいて説明するとともに、日々の講義や実習前など折を見てその内容の共有に努めている。

教育理念等は、社会の変化や医療をとりまく環境の変化を見据え、「地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する。」としている。また、当校の特徴を生かしながら、第5次カリキュラムにも対応するなど、本校の教育活動の指針となっている。

「地域医療に貢献する看護師を育成する。」という本校の役割については、校長講話として学生に周知するとともに、教員についても、目指す方向性やその取り組みについて適宜共有している。引き続き、機会あるごとに教員、学生への共有化を図っていく。

【学校関係者評価・意見】

- ・教育理念は学校の出発点であり、明確に共有されていなければ教育の方向性が曖昧になる恐れがあるとの指摘があった。
- ・特定の教員に依存するのではなく、教員全体で理念や方針を共有する機会を意識的に設ける必要があるとの意見が出された。
- ・教育理念の共有は、今後の課題として認識すべきとのまとめがあった。

II 学校運営

【自己評価】 評価点 3.3

本校は、教育目的である看護師として必要な知識、技術、態度を養い、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる有能な人材を育成するための運営方針を策定し、運営組織や意思決定機能は、学則等において明確化している。

学校運営に関しては学則に沿って、昨年同様、年4回の運営委員会議や定期的な教員会議を開催し協議している。

昨年同様、教育活動等に関する情報公開については、学校案内及び市ホームページにより行っている。

また、八王子市の公式 YouTube 等を活用するなど、新たな広報媒体を活用した学校の周知に取り組んでいる。

令和6年度から、ホームページのリニューアルを行い、本校の魅力発信に努めている。

【学校関係者評価・意見】

- ・高校生が進学先を検討する際には事前にホームページを確認するケースが多く、広報として非常に重要であるとの意見が出された。

Ⅲ 教育活動

【自己評価】 評価点 3.3

地域に根差し、地域の人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成する教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している。

教育理念・目的・目標に沿った教育内容の見直しは、令和2年度（2020年度）から開始した学生からの「授業評価」を基に、専任教員・外部講師との意見も踏まえ、参考に行っている。また、国家試験出題基準を確認しながら、医療をとりまく諸問題にも目を向け、年度末には授業内容の改善を図っている。

単位認定や・卒業判定の基準は学則に沿って明確に行われている。また、講義実施に当たり、専門分野領域で活躍されている臨床の認定看護師・専門看護師など優れた講師を招き、実施している。

専任教員については、専門分野に配慮し配置するとともに、それぞれの専門性を生かした教員間の情報共有に努めている。

教員の能力開発のため、東京都看護系学校連絡協議会主催の研修「学生の思考力をのばす教育方法」、また「カスタマーハラスメント対応研修」等に参加した。

【学校関係者評価・意見】

- ・理解度に差がある学生への対応の難しさがあるとの発言があった。また、限られた授業時間の中で全員に個別対応することの困難さについても言及された。
- ・グループワークや【意見交換】の機会を増やし、主体的に考えさせる教育方法の重要性が指摘された。
- ・学生の主体性の育成については、今後の課題として認識すべきとのまとめがあった。

Ⅳ 学修成果

【自己評価】 評価点 3.1

第115回看護師国家試験結果の全国的な合格率は88.3%であるのに対し、本校は、92.1%（38名受験して35名合格、3名不合格）であった。

市内の病院による就職説明会を8月に開催。こうした機会を通して、公立学校としての使命を学生に周知を図った。令和7年度（2025年度）は八王子市内の医療機関への就職率は73.5%となっている。また、八王子市外の病院への就職を希望する学生にはその理由を明確にし、副校長・アドバイザーとの相談のもと支援を行っている。

令和7年度（2025年度）の退学者については、2名であった。

欠席が多いなど就学が順調でない学生については、個別面談やその保護者への連絡を密にし、原因の把握と対策を講じ、引き続き、退学者等の低減に取り組んでいく。

キャリア形成については、「キャリアデザイン講座」として学生が受講するとともに、その情報を教員間で共有し教育に反映している。

【学校関係者評価・意見】

- ・不合格となった学生及び退学者の状況について質問があった。

V 学生支援

【自己評価】 評価点 3.4

アドバイザー制を採用し、一人の教員が1～3学年18名前後の学生を担当し、教員は学校生活全般の指導や就職・進路相談など、細やかな個別性に合わせた指導を行った。また、成績不良の学生には成績担当、及びアドバイザーの教員により、その学生の学習方法の見直しや今後の対策などを指導するとともに、状況によっては保護者と面談を実施し協力を依頼している。

健康管理体制については、学校保健安全法に基づき全学生への健康診査を年1回実施するとともに、精神的な不安が生じた学生に対しては、学校負担により専門医を紹介している。

ハラスメントの防止及びこれに起因する問題が生じた場合の対応等を定めた「八王子市立看護専門学校ハラスメントの防止に関するガイドライン」を策定し、令和8年4月1日に施行した。

修学資金等の経済的な支援については、各種奨学金制度の利用や八王子市独自の修学支援制度利用について、きめ細かく周知するなど相談支援体制を整備している。

卒後1年目の卒業生を対象に、「ホームカミングデイ」を令和6年度（2024年度）から実施している。21人が集まり、卒業生の悩みを教員が聴くとともに、卒業生同士の親睦を深めた。

就職後、リアリティショック等でメンタルダウンした卒業生が学校を訪問した際には、傾聴やアドバイスをを行っている。

【学校関係者評価・意見】

- ・ ハラスメントの判断基準については難しい側面があるとの指摘があった。
- ・ 受け手の感じ方によってハラスメントの認定が左右される可能性がある点が課題であるとの意見が出された。
- ・ ハラスメント対応と指導の在り方については、今後の課題として認識すべきとのまとめがあった。

VI 教育環境

【自己評価】 評価点 3.3

感染症拡大防止に向けて、マスクの着用、手洗い、消毒の徹底など指導に努め、校内でのクラスター発生はなかった。

学内実習の充実を図ることを目的として洗髪車を新たに購入した。

学生向けのWi-Fi環境を整備し、教科書のデジタル化等への準備を行った。

実習は、1グループ約6名の学生に対し、教員1名で指導を行っている。

実習については、カリキュラムの変更に対応するため、令和6年度（2024年度）より、新たに実習場所として「右田病院」、「高齢者あんしん相談センター」、「シルバーフラット」、「小学校の保健室」を確保し、地域で生活する人を支援するための少人数での実習

を実施することができた。

【学校関係者評価・意見】

- ・ デジタル教科書導入に伴う影響について質問があり、事務局より、利便性の向上が期待される一方で、運用面や学習効果への影響について検討が必要であるとの説明があった。

VII 学生の受入募集

【自己評価】 評価点 3.7

学生募集に関しては、8月に学校説明会（オープンキャンパス）を開催するとともに、個別的な学校説明・見学者の受入れを随時行い、入学希望者に対する丁寧な対応に心がけた。また、広報のみでなく、八王子市の公式 Youtube 等も活用し周知に努めたほか、高校訪問や高校生への進路相談会へ積極的に参加した。

令和6年度から導入した推薦入試については、初年度2名から本年度10名と大幅に増加し、学生確保に貢献している。

募集時に使用する学校案内には、国家試験合格率や市内就職率等のデータを掲載し情報を提供している。

授業料等の学費については、他の公立の看護学校と比較して安価であり、学校運営経費の約9割を税で負担している。教科書代や教材費等の諸経費は実費となっている。

【学校関係者評価・意見】

- ・ 推薦入試増加の背景について質問があり、事務局より、全国的に早期選抜（推薦・総合型選抜）が増加している傾向があるとの説明があった。
- ・ 社会人学生の方が目的意識が明確で、学習意欲が高い傾向にあるとの意見があった。

VIII 社会貢献・地域貢献

【自己評価】 評価点 3.4

令和6年度から看護師を目指す市民を対象とした「公開講座」を子育て支援課と協力して実施した。

東京医科大学八王子医療センターの防災訓練、東海大八王子病院の災害時救護訓練、乳がん啓発イベントへの学生の参加や高尾山の清掃活動などボランティア活動を実施した。

また、教育委員会からの依頼による「養護教諭研修」を実施し、参加者からは良い評価を得ている。

公立の学校として地域との関わりを深めるため、引き続き積極的なボランティア活動の取組を行っていく。

【学校関係者評価・意見】

- ・ 特になし。

Ⅸ 国際交流

【自己評価】 評価点 3.3

当校の独自科目でもある「国際文化交流」の授業の一環として、例年八王子市の海外友好交流都市である台湾高雄市を訪問し、現地医療施設の見学や中国語を用いた看護学生との交流を行うこととしており、令和7年度（2025年度）についても実施することができた。

【学校関係者評価・意見】

- ・委員より、海外研修については教育効果は高いものの、費用や家庭事情により参加が難しい学生への配慮が必要との意見が出された。

令和7年度（2025年度）学校評価報告書
令和8年（2026年）6月発行

発行 八王子市立看護専門学校
〒193-0944 八王子市館町1163番地
電話 042-663-7170 FAX 042-662-9691